



学校教育理念：「**凛**とした学校(凛貫学校)を目指して」

教育目標：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成

教育コンセプト：与えよう！ 元気 感動 繋がり



令和2年6月26日 4号 文責 長松小学校 校長 佐々木講吉

### 早期発見・早期解決。いじめアンケート

全校一斉のいじめアンケートと教職員の指導に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。このアンケートは全県下で年二回実施され、いじめの未然防止や重大化防止を目的として実施しております。

#### いじめアンケート結果の概要

ほとんどは、いじめは受けていない、聞いていないとの回答で安心しましたが、一部では以下のような回答をいただきました。

- ◆遊びに入れてもらえない。
- ◆暴言や悪口を言われた。
- ◆無視◆ものを隠された。
- ◆たたかれた、押された。

といった事案を確認しました。これらについては担任から該当の保護者への連絡とその後の対応を行ったところです。

本校では、この他にも学校独自に毎月生活アンケートを実施し、いじめの早期発見と未然防止に努めているところです。気になる事案は保護者と共有し、その後の指導に活かしているところです。

#### 教職員の指導に関するアンケート結果概要

◆子どもへの指導の口調が荒ら過ぎて、周りの子が怖がっている。◆男の先生が頭を平打ちにしていたそうだ。

このことにつきましても、該当の職員と職員全体に指導をすると共に、子どもへの対応について研修も致しました。

### 心の教育の充実を目指して！

いじめにも関係しますが、子どもたちの学校生活を観察していると、言っていない言葉や、してはいけない事の判断力の低下が気になります。中でも教師や級友が注意した後の受け止め方が、気になります。

指導を聞き入れられない、他人のせいにする、自分が言ったこと、したことを認めない等が増えており心配しています。このことは一年生にも当てはまることです。

その要因として、日常の中で心の教育の不足、自己肯定感の低さ等と言われています。

全校・全家庭で統一した心の教育が必要と思っています。

#### 役割・出番・承認を！

自己肯定感を高めるには、させてみて、役割や出番をつくり承認（認めて褒める）することが重要です。指示・命令ではなく、出番を与え、自らさせて、考えさせることです。

それには、教師や親が我慢することです。辛抱強く子どもが自ら考え行動するように仕掛けることです。

その継続で、感情をつかさどる脳が発達します。それは、小学校期までにほぼ完成するといわれています。

(下図参照)

この時期を逃せません。近く、全校で自問教育をはじめます。詳しくは次号にて・・・

脳の発達状況 時実利彦著「脳と人間」より

